

6 信里診療所の現状と課題 <長野市医療連携推進課 中澤課長補佐>

「年度別の診療状況」について令和3年度の**内科の実績は**、診療日数 93 日、受診者数は 105 人、**1日平均の受診者数は 1.1 人です**。歯科は、診療日数が 43 日、受診者数は 212 人、**1日平均の受診者数は 4.9 人です**。令和3年度 内科での**受診者数別の診療日数**ですが、**受診者が「1人」が最も多く 26 日、続いて「2人」が 17 日と続いております。受診者が「0人」の日が 36 日あり、診療日 93 日の4割近くが患者さんがいない状況となっております。**

内科の実受診者数の状況ですが、実人数が 13 人、地区人口に対する割合は 1.15% となっております。地区人口に対する実受診者の割合は、**今後診療所のあり方を決めていく上で、地区の診療所に対する需要を客観的に評価する大変重要な数値であります、この比率を高めていく必要があると考えております**。また、信里診療所は半径 4 km 以内にほかの医療機関があるため、**収支不足額の 2/3 又は 1/2 を国が負担する特別調整交付金（へき地直営診療所運営費）の対象外**となっており、信里診療所の収支不足額については、**全額が市の負担により賄われています**。

7 参加者の皆様の声

信里診療所の状況をみて診療所の実受診者が 13 人で、年間 93 日診療日があって、そのうち 36 日が受診者なし、3分の1は誰も来ないという状況。そして、収支不足が 400 万円ちかく持ち出しているという状況。信里診療所をこのまま続けていくのは、どう考えても無理あるなあって思う。でも 13 人とかが来てのだから、その人たちをほったらかしにするわけにはいかない。その人たちに支障のない形の対策を考える必要があるのではないかと考えています。

地域の要望を、部会でもアンケートをとったところ 1/3 以上は存続して欲しいとの希望がありました。若い人だと「まだ診療所あるんですか？」と言う人もいたりして、もうちょっと皆さんに知っていただく努力もしくなくちゃいけないなって思います。

受診者が非常に減少してしまったことに驚いております。この3年間開催できなかったこともあってですね、この信里診療所の実績、利用状況もわからなかった。信里診療所は信里においては絶対なければならない診療所というふうに感じております。地域の皆さんの方にもっと声をかけてですね、この診療所をもっと大勢利用していただくように、意見を聞いたりして存続していくように、我々もこれから考えていきたいです。

利用者の年代を調査したところ、後期高齢者の方が大半で、65歳以下の方はなく、ほとんどが70歳以上で、70歳未満は1人、70歳以上、80代がほとんどでした。滝澤先生も言われたように、重い疾患の場合は大きな病院にかかって、継続で治療するときは診療所を利用していくことをアピールしてもいいかなと思いました。歯科の方も伺ったんですけど、やっぱり患者さんはほとんど継続の方で、新規の方は年間2人くらい増えているということです。利用者の年代は70代前半後半の人が多く、先生が言われたように口腔メンテナンスをアピールしていけば高齢者の方も利用する人が増えると思います。

信里診療所の利用促進について

総務部会並びに社会福祉部会としまして、年々皆様のご利用が減少していることを重く受け止めています。このままの状態が続くといずれ「存続が危ぶまれる事態」となってしまうことを心配しています。そのため、今後も診療所の利用促進に向けてPR活動を積極的に行っていきたいと考えております。皆様の一層のご利用をお願い申し上げます。(総務部会長 島田賢一・社会福祉部会長 野沢清子)

信里だより

～信里医療懇談会特集号～ 令和5年1月1日発行 総務部会・社会福祉部会

今回の「信里だより」は、**令和4年11月19日(土)に開催された「令和4年度信里医療懇談会」**について皆様にご報告をいたします。

信里医療懇談会については、平成30年度の開催以降、令和元年度は台風19号災害、令和2年、3年とコロナ感染の拡大により**3年間開催が見送られてまいりました**。

久方ぶりの開催である今年度もコロナ感染の拡大はいまだ収束を見せないことから、区長の皆さん、社会福祉部会の皆さんと民生委員の皆様方のご参加で開催する運びとなりました。

ご来賓の先生方から、信里診療所の現在の様子をお話し頂き、長野市医療連携推進課からは信里診療所の利用状況や課題等のご報告を頂きました。懇談会では、双方より活発な意見交換が行われ行政側と地域が一緒になり信里の医療を考えるよい機会となりました。

出席者

<来賓>

信里診療所内科医師 滝澤 隆先生、歯科医師 島田隆夫先生
長野市保健福祉部医療連携推進課次長兼課長 小林雅裕様、課長補佐 中澤由樹様
信里診療所看護師 山口理恵様、事務 原山道代様、田中恵子様

<参加者>

区長、社会福祉部会員、民生委員の皆様

会議の冒頭、医療連携推進課の小林課長より、長野市では地域の皆さんの健康を守るために、信里診療所を含め、八つの診療所を運営しているが、昨今の少子高齢化や、人口減少の問題等の影響、併せて医療スタッフの確保、これもまた非常に難しくなっており、中山間地の診療所を取り巻く環境というのは、非常に厳しい状況との報告がありました。「**中山間地における医療体制の確保は、本市の重要課題の一つです。将来を見据えた診療所のあり方について、地区の皆様と一緒に、継続的かつ具体的な検討を始めるタイミングではないかと考えており、本日の懇談会を今後の地域医療の方向性を考える上で、非常に貴重な機会であります。**」とご挨拶を頂き懇談に入りました。



内科医師 滝澤 隆先生のお話（診察日 火曜日・木曜日 午後2時～4時）



私は、火曜日の診療を担当させていただいております。
木曜日は、今は主に篠ノ井総合病院の方から交代で先生たちが来ています。
私が診療所に来るようになって、かれこれ20年以上経ちます。最初のころに比べると大分患者さんは減ったなという印象はあります。

私が今診療所で診ている患者さんは主に高血圧の患者さん、それから高脂血症、安定している心臓疾患の患者さんたちが多くです。その方々は、普段、落ち着いているときは信里診療所に通院していただいて、例えばコロナワクチン接種だとか、特定健診だとか、あと急に何か具合が悪くなったりした場合には、私の方（滝沢医院）に来ていただいて診療しています。

症状が落ち着いているときは信里診療所にかかり、信里診療所で対応できない場合には市街地の医療機関を受診するというようにうまく使い分けていただくともう少し診療所の患者さんも増えるのかなという気はします。

あと信里診療所が唯一、盛況になるのがインフルエンザのワクチン接種のときです。これはいいPR効果にもなっていると思います。

問題なのは、現在医師の確保がなかなか難しくなってきたことです。

10年、20年前というのは、結構時間に余裕のある開業医の医師がそれなりにいたんですけども、今は開業医も忙しくて、私が例えば急に何か都合が悪くなった場合でもなかなか代理に来てくれる医師がいません。信里診療所の木曜日にも医師が交代でやりくりしているような状況です。今後はそういった医師の確保も難しくなっていくかなという気はします。

1 【内科】年度別診療状況

診療科	年 度					
	H 29	H 30	R 01	R 02	R 03	
内 科 火曜日・木曜日 14:00～16:00 滝澤 隆 医師 山川 淳一 医師 丸山 彰彦 医師ほか	診 療 日 数 (日)	100	98	95	93	93
	延 べ 受 診 者 数 (人)	176	164	156	127	105
	一 日 平 均 (人)	1.8	1.7	1.6	1.4	1.1

2 令和3年度【内科】受診者数別の診療日数

4月～3月	0人	1人	2人	3人	4人	診療日数
合 計	36日	26日	17日	10日	4日	93日

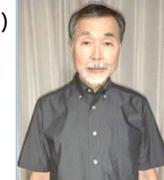
（診察日数93日のうち一人も患者さんが来ない日が実に36日もある、非常に厳しい状況です）

3 年度別決算状況

（単位：千円）

	平成29年	平成30年	令和1年	令和2年	令和3年
歳入合計	1,841	1,791	1,678	2,651	1,758
歳出合計	4,897	4,670	4,174	5,348	5,755
収支不足額	-3,056	-2,879	-2,496	-2,697	-3,997

歯科医師 島田 隆夫先生のお話（診察日 木曜日 午前9時30分～12時30分）



私は、木曜日の午前中、9時半から12時半まで、短時間の勤務をしています。
私と歯科衛生士、そして受付の3人で勤務しておりますが、その体制で半日で患者さんが大体5人から6人、そのうち、3人から4人は口腔メンテナンスです。

最近の歯科では口腔メンテナンスが非常に重要視されております。その中で、どんどん皆さんにこの施設を利用していただければ、もちろんそれはそれで、結構なことだと思うのですが、1人について40分から1時間ぐらいかかりますので、残念ながらいろいろ対応できません。今ぐらいが、私にとってはちょうどいいのかなあと考えております。

口の中は、実は細菌の巣なのです。普通にしていると、やっぱり色々な疾患を起こしてしまう。そうすると今は異常がなくても歯医者に行くと、そういう細菌とつき合っていく方法を上手く教えてもらった、或いは管理の方法、そういう発想考え方が大事だと思います。

信里診療所の歯科が9時半からですから、それと前後して10分ほど青池保育園に毎週木曜日に歯磨き指導に行くようになって10年程になります。その子供たちは今、高校生ぐらいになっているんですね。子供の頃から口腔メンテナンスを目指していこうと思いついて、なかなか、いいじゃん、ここまでできるようになってくれたかという子供たちがいます。（島田先生にはボランティアで歯磨き指導をして頂いています）ちなみにこの秋、青池保育園での歯科検診ではついにゼロ、虫歯の本数がゼロになりました。青池保育園の関係者の皆さんには喜んでいただきました。私のいちばんの目的は子供たちの虫歯を減らすのではなくて、こういう考え方をを持った子供たちが大人になってこの地域の思想を少し変えていこうという取り組みもさせていただいております。

これからの歯科とのかかわりあいにはメンテナンス中心にし、自分のかかりつけの歯科医を決めて、そこでいろんな情報を得て、自分の管理をするというスタンスを持つという考え方を自分の中に根差していくということがとても大事です。今後も同じようなスタンスで診療を続けていきたいと考えております。

4 【歯科】年度別診療状況

診療科	年 度					
	H 29	H 30	R 01	R 02	R 03	
歯 科 木曜日 9:30～12:30 島田隆夫 歯科医師	診 療 日 数 (日)	42	44	45	46	43
	延 べ 受 診 者 数 (人)	257	253	250	261	212
	一 日 平 均 (人)	6.1	5.8	5.6	5.7	4.9

5 年度別決算状況

（単位：千円）

	平成29年	平成30年	令和1年	令和2年	令和3年
歳入合計	1,702	1,459	1,597	2,821	2,009
歳出合計	3,760	4,672	4,279	5,366	5,953
収支不足額	-2,058	-3,213	-2,682	-2,545	-3,944